

Economic Indicators

定例経済指標レポート

指標名: 第3次産業活動指数(2007年9月)

発表日2007年11月15日(木)

～8月からは低下したが上昇基調に変化なし～

第一生命経済研究所 経済調査部
担当 エコノミスト 中本 泰輔
TEL : 03-5221-4549

(単位: %)

		第3次産業活動指数		電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信業	運輸業	卸売・小売業	金融・保険業	不動産業	飲食店・宿泊業	医療、福祉	サービス業	
		前期比	前年比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比	
06	1-3月	0.2	2.1	▲1.0	▲1.0	0.7	0.3	▲0.3	▲0.6	0.9	0.7	0.7	
	4-6月	0.6	2.7	▲0.5	2.0	0.3	1.0	▲1.1	0.5	0.6	▲0.5	0.8	
	7-9月	▲0.4	1.5	0.2	▲1.9	0.5	▲0.6	▲2.0	0.5	0.6	0.5	0.5	
	10-12月	0.9	1.6	2.3	3.1	0.1	1.1	0.4	0.0	▲0.3	1.0	▲0.1	
07	1-3月	0.2	1.2	▲0.9	▲1.9	▲0.2	0.2	1.9	0.1	2.2	0.3	1.6	
	4-6月	0.6	1.3	1.7	1.4	0.6	1.8	▲0.4	▲0.2	1.3	▲0.2	▲0.9	
	7-9月	▲0.1	1.4	0.6	1.3	0.9	▲1.0	0.4	0.6	▲1.5	0.3	▲0.3	
06	4月	1.2	2.4	1.9	5.6	▲0.7	1.8	0.9	0.7	0.0	▲1.6	1.3	
	5月	0.7	3.7	▲1.7	▲1.3	0.6	1.0	▲0.3	0.0	0.1	1.7	1.0	
	6月	▲0.8	1.9	▲1.2	▲0.8	0.0	▲0.4	▲0.6	▲0.1	▲0.2	▲0.7	▲0.8	
	7月	0.1	2.0	0.5	▲0.6	▲0.2	▲0.1	0.4	0.3	0.3	0.3	0.9	
	8月	0.4	1.4	3.1	0.7	0.3	0.4	▲2.0	0.1	0.4	▲0.2	▲2.0	
	9月	▲1.2	1.1	▲2.7	▲2.5	0.1	▲2.4	▲1.4	0.6	0.6	0.8	▲0.2	
	10月	1.7	1.9	2.6	4.7	▲0.6	2.5	3.9	▲0.4	▲0.5	0.3	0.0	
	11月	▲0.1	1.3	0.6	0.4	0.6	0.4	▲2.6	▲0.3	▲1.6	▲0.2	0.3	
	12月	▲0.2	1.3	0.6	▲1.1	0.0	▲0.3	▲0.2	0.3	2.4	0.9	▲0.2	
	07	1月	0.4	1.1	▲3.0	1.2	▲1.1	▲0.3	0.7	0.8	1.7	▲1.1	2.4
		2月	1.0	1.7	1.4	0.0	1.0	2.4	3.7	▲0.8	▲0.6	2.2	▲0.3
		3月	▲1.9	0.9	1.6	▲7.6	0.2	▲3.0	▲0.9	▲0.9	▲0.4	▲1.3	▲1.7
4月		1.6	1.2	1.7	9.3	0.6	2.9	▲1.8	1.3	1.6	▲1.1	0.3	
5月		▲0.1	1.3	▲2.3	▲3.0	▲1.2	0.4	1.3	▲0.8	▲0.7	0.4	▲0.5	
6月		0.1	1.4	0.2	▲0.7	0.9	▲0.2	▲0.3	0.1	1.7	2.1	1.0	
7月		▲0.4	1.5	▲4.4	3.6	0.0	▲1.4	1.4	1.2	▲4.7	▲1.5	0.2	
8月		1.2	2.0	7.9	1.2	1.3	2.0	1.1	▲0.7	▲3.7	▲0.7	▲1.2	
9月		▲1.6	0.7	1.5	▲4.6	▲0.4	▲2.7	▲5.9	0.3	▲0.2	2.2	▲0.8	

(出所) 経済産業省「第3次産業活動指数」

○第3次産業活動指数：前月比▲1.6%と8月から大きく低下

9月の第3次産業活動指数は前月比▲1.6%とコンセンサス(同▲1.0%、レンジ:同▲2.5%～+0.2%)を下回り、低調に推移した。

主要11業種のうち、マイナスに寄与した業種は卸売・小売業(前月比寄与度:▲0.63%ポイント)、金融保険業(同:▲0.55%ポイント)、情報通信業(同:▲0.46%ポイント)など6業種、プラスに寄与した業種は、医療、福祉(同:+0.20%ポイント)、学習支援業(同:+0.09%ポイント)、複合サービス事業(同:+0.07%ポイント)など5業種であった。

気温が高めに推移した影響でアイスクリームや清涼飲料水の売れ行きが好調だった飲食料点小売業が前月比プラスとなり、3連休が2回あったことによる行楽需要の増大から燃料小売業もプラスとなったが、秋物衣料の売れ行きが不振だったことなどから織物・衣服・身の回り品小売業や各種商品小売業が大きくマイナスに転じたため、小売業は前月比マイナスとなった。また、各種商品卸売業が前月比▲25.4%と大きく落ち込んだことなどから、卸売業が大幅に落ち込んだ。ただし、卸売業については、四半期決算を導入する企業が増えていることもあって季節調整値が過度に押し下げられている可能性もあるため、やや割り引いて考える必要があるだろう。さらに、株価が大きく下落し有価証券の取引が控えられたことによって、証券業が前月比▲34.6%と大きく落ち込み、金融・保険業も前月比マイナスとなった。

○4四半期ぶりのマイナスも上昇基調に変更なし

7-9月期は前期比▲0.1%となり4四半期ぶりのマイナスとなったが、前年同期比では+1.4%となっていること、前述のように9月は季節調整値が実勢よりも下振れている可能性があることを考慮すると、第3次産業活動指数は引き続き緩やかな上昇基調を辿っていると評価できよう。

先行きに関しては、賃金は低調に推移しているものの、生産は拡大傾向となっており、労働需給も逼迫度合いを増してくると考えられることから、雇用・所得環境は緩やかながらも改善傾向が持続すると見込まれる。このため、第3次産業活動指数も上昇トレンドをたどる公算が大きいだろう。

○9月の全産業活動指数は前月比▲1.6%を予想

9月の第3次産業活動指数の結果を受けて、全産業活動指数は前月比▲1.6%を予想する。鉱工業生産指数は、8月に前月比+3.5%となったことによる反動で9月は同▲1.4%となり、また、建設業活動指数も改正建築基準法施行の影響から、大きく落ち込む公算が大きい。このため、全産業活動指数もマイナスに転じる見込みである。

